

会議名	平成24年度 第3回西ブロック会 神奈川県医療社会事業協会県央・県西・湘南西部ブロック 合同研修会	<input type="checkbox"/> 全体会 <input checked="" type="checkbox"/> ブロック会 <input type="checkbox"/> 執行部会
開催日	平成25年 1月 25日(金) 14:00 ~ 17:00	
場所	厚木市ヤングコミュニティーセンター6階 ホール250	
参加者	<p>(支援相談員部会・西ブロック)</p> <p>えびな、ガーデニア・ごしよみ、ききょう苑、ケアガーデンさがみ湖、こまち、コミュニティアーク北部、相模大野、さつぎの里あつぎ、湘南わかば苑、大地、にじの丘足柄、ニューライフ湯河原、ぬくもりの家、ほほえみの丘、南大和老人保健施設さくらぶらざ、ライフプラザ鶴巻、わかば、ウエルケア新吉田、たかつ</p> <p style="text-align: right;">以上 19施設21名</p> <p>(神奈川県医療社会事業協会・県央、県西、湘南西部ブロック)</p> <p>愛川北部病院、厚木佐藤病院、伊勢原日向病院、海老名総合病院、オアシス湘南病院、鶴巻温泉病院、東名厚木病院、丹羽病院、平塚市倉田会包括、ふれあい平塚ホスピタル、睦合地域包括、済生会平塚病院、戸塚病院</p> <p style="text-align: right;">以上 13病院16名</p> <p style="text-align: right;">記録者:わかば 小林雅代</p>	
内容	<p>総合司会:支援相談員部会 西ブロック部会長 ききょう苑 磯部紀子 氏</p> <p>1. 開会挨拶 支援相談員部会部会長 ウエルケア新吉田 内田喜之 氏</p> <p>2. 事例検討「生活保護の方への支援について」 進行:睦合地域包括 松崎 吉之助 氏</p> <p>内容:病院や老健における生活保護受給者への支援・課題など、事例を基に意見交換等行う。</p> <p>第一部</p> <p>(1)10 分間グループの中で自己紹介、近況報告、情報交換などを行う。</p> <p>(2)事例を基に、グループ内で自由に意見交換・情報共有を行う。</p> <p>事例1)老健側より</p> <p>生活保護受給者であっても、介護保険一部負担金及び介護保険以外の費用が発生するケースにおいて、家族間、市の福祉課との間で意見の相違が生じることとなった。</p> <p>(家族)施設側に対し、法外な請求を求めているのでは？本人には、切りつめた生活をしてほしい。おやつなどいらない。</p> <p>(本人)自分自身の年金は自分自身で使う権利がある。なぜ切りつめた生活をしなくてはならないのか。おやつは食べたい。</p> <p>(市の福祉課)保護費としての収入が支出を上回らない以上、一部負担金を下げるわけにはいかない。</p> <p>→生活保護受給者の一部負担金がある場合等で、困ったケースなどはあるか(料金説明など)</p>	

内容

例2)老健側より

病院退院後リハ目的にて、老健入所。入院前に生活保護受給を開始し、家賃補助を受けていた。その家賃補助期限(入院後6ヶ月)までに家には帰りたいと本人より話があり。その為、退所指導を行い、老健入所した約3ヶ月後、アパートへ退所。しかし、退所した2日後、外出先で転倒。

→家賃補助期限がある中で老健側としてはもう少しリハビリをしてから退所してもらったほうが良かったのか生活保護受給者が在宅復帰をするうえで難しかったケースなど

事例3)病院側より

病院入院中の生活保護受給者が、現在の状態では在宅に戻ることができない為、老健を希望。しかし、老健へ相談すると、生活保護受給者の受け入れを制限している老健が多く、相談可能な老健でも待機が半年以上となり、入所可能な施設がなかなか見つからない。病院側からも退院を迫られており、結果、老健待機の間の療養型病院への転院となり、本人の希望する老健への入所は難しかった。

→生活保護受給者の受け入れ状況などについて

事例4)病院側より

救急入院が必要であるも、医療費が払えないとのことで本人が入院を拒否。経済的に相談にのるという医師の説得により入院となる。

(本人の主訴)医療費が払えない。働きたい。今後働くためには車を手放すわけにはいかない。

(病院側)手術が終わればすぐに退院となる為未納金が発生する可能性が高い。限度額認定証もしくは委任払いができないか、家族の支援がどこまで可能か、車を所有したままの生活保護申請が可能か確認。

(家族)経済的援助が不可能。家族から本人を説得し、生活保護を申請。

(市)生活保護の認定を受けるには、車を手放す必要がある。保険料の未納があり、限度額認定証・委任払いのいずれも不可。

最終的に生活保護の手続きをすすめることとなり、本人の「働きたい・車を手放したくない」という希望に沿うことができなかった。

→制度上の原則により本人の希望に沿えなかったケースなど

～休憩～

第二部

(1)事前アンケート結果・生活保護制度についての資料説明(睦合地域包括 松崎氏より)

～事前アンケートの結果～

1)生活保護受給者相談時のSWの心境(老健)

○身構える→14人 ○変わらない→12人 ○気合が入る→1人 ○その他→2人 ○無回答→1人

2)生活保護受給者相談時のSWの心境(医療機関他)

①急性期病院SW・・・○気合が入る→3人 ○変わらない→5人 ○身構える→1人

②急性期・療養・回復病院SW・・・○変わらない→2人 ○身構える→1人

③療養型病院SW・・・○変わらない→2人

④療養・リハ病院SW・・・○変わらない→1人

※老健のSWの方が身構える人が多い。機関によって出てくる課題、置かれている状況が違うので、心境も変わるのか。

内容

3)生活保護受給者の受け入れ状況(老健)

○受け入れ可→19 施設 ○受け入れ否→1施設 ○応相談→10施設

※老健入所中の生活保護受給者の割合は全体(西ブロック地区)で6.3%

4)生活保護受給者受け入れ割合(医療機関他)

○2%→1機関 ○3%→1機関 ○4%→1機関 ○5%→2機関 ○6%→1機関

○7%→1機関 ○10%→1機関

～資料説明～

1)神奈川県保護率(市町村別)について

2)神奈川県における年齢階層別保護率の推移について

※母子家庭よりも60歳以上の年齢層の保護率の高さが際立っている。

3)各福祉事務所65歳以上の人口の割合と保護率の比較について

4)生活保護制度見直しについて

→厚生労働省内設置の審議会・部会の動きをチェック

(2)情報交換

10分毎にメンバーを替え、情報交換(自己紹介、近況報告など)を行う。

3. 閉会挨拶 神奈川県医療社会事業協会 厚木佐藤病院 大藤美由紀氏

以上



## 県央ブロック交流会 感想アンケートまとめ

集計数 25名 (参加人数 35名)

とても良かった・・・18名

良かった・・・6名

ひと工夫ほしかった・・・1名

- ・ 他の病院の SW の方と顔を合わせて交流できたことが良かったです。
- ・ 普段、電話のみのやり取りが多いため、時々このような機会があればと思います。
- ・ 生活保護に関しては生保の担当ケースワーカーの方の話等聞ける機会があれば尚深められるのではないかと思います。
- ・ 最後のテーブルを移ってみんなと顔を合わせる機会を作っていただいたことが良かった。
- ・ 事例については、それはそれ、事例を魚にあんまり関係ないトークが繰り広げられましたが貴重な情報交換の場になって良かったです。
- ・ 楽しくグループの方とお話することが出来ました。
- ・ 他の方とお話が出来て良かったです。
- ・ 老健や病院、様々な機関の方と交流が持てた
- ・ 老健での入所時の細かい加算等お話を伺え、こういった機会でないとお伺いできないと思った
- ・ 同じ老健でもそれぞれの施設の考え方や方針で違うことが分かり勉強になりました。
- ・ 生活保護の方の受け入れケースの経験が少ないので、色々なケースの事例を聞き、生保の制度を知ることができ、自分自身ももっと勉強しなければと思った。
- ・ 病院と老健・地域包括の方とグループワークをし、各機関での生保の対応や困っている点などを聞け、とても勉強になりました。
- ・ 老健さんと顔の見える交流会に参加したのは初めてだったので、すごく勉強になりました。まだまだ経験不足なので事例を通して一部ではありますが支援する上での制度的課題、ニーズに気付けて良かった。
- ・ 沢山名刺交換ができた
- ・ 有意義な時間だった
- ・ 病院・老健それぞれの事例を通して意見交換できたのは良かったです。それぞれの事情も理解できたと思います。
- ・ 普段話す機会が少ない職種の方と話すことが出来て良かったです。相談員でも病院・老健などで同じ事例でも視点が変わって新鮮でした。良い刺激にな

りました。

- ・ 病院関係の方と面識が持てたので今後の入所相談（特に生保の方）がやりやすくなった
- ・ 事例もグループワークで話し合えて良かった。
- ・ 疑問に思ったことが気軽に聞けた。
- ・ いろんな SW と顔合わせができて交流が深まった
- ・ 老健での受け入れ体制や生保制度による制限など話を聞くことが出来てよかったです。施設の形態（法人など）によっても体制が異なることもよく分かりました。
- ・ テーマは決まっていたもののそれにとらわれず自由にディスカッションすることができたので良かったです
- ・ 老健での生活保護の方に対する捉え方の違い、施設ごとの特色が分かり、面白かった。
- ・ 生活保護に関わるケースの病院の SW との意見交換ができ、とても勉強になりました。
- ・ 近隣施設の動向や他老健の方と様々なお話のできたので良かったです。（交流の時間があり）
- ・ 病院の方の動きが分かった
- ・ 老健への紹介時に先にお願ひしたいことを伝えられた
- ・ 生保の入所相談や受け入れが増えている状況だったため他施設の状況が聞けて安心した。
- ・ 病院勤務の MSW の話はとても参考になった
- ・ 今後、ニーズの増えてくる課題で、他の施設さんの取り組み、現状を伺えたので施設に持ち帰り、提議するいい機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 様々な分野の方々との交流ができてよかった。生活保護制度についてもう少し触れて欲しかった。
- ・ 行政機関の方の意見を聞かせていただければもっと良かったかなと思います。
- ・ 生活保護受け入れの準備を考えたい
- ・ 生保についての題ではあったが今ひとつ盛り上がり欠けた。
- ・ MSW との交流ができ、勉強になりました（考え方等）
- ・ 座席まで事前に決めていただけるとよかった
- ・ 移動のとき老健の方ばかりになってしまった
- ・ 生活保護はこれから増加していく恐れがありますので SW として立ち向かう必要があると思います。ありがとうございました。

- ・ 次回も楽しみにしています。
- ・ 準備段階から含めお疲れ様でした。この会を今後も継続的に続けて欲しいです。
- ・ また続けて開催して欲しい
- ・ 今後も交流会を開催していただけたらと思います
- ・ 事例は話が盛り上がるのでよかった
- ・ 今後も継続的に開催を希望します。